

イベント・講座

移動 図書館まちかど号 約3,000冊の本を載せて貸出しを行っています。



諏訪小学校分校跡グラウンド 7月 8日(水) 10:15～11:10
東中浜小学校南東門 7月 8日(水) 12:50～13:35
市営嶋野住宅2号棟と3号棟の間 7月 9日(木) 14:10～15:10
中浜小学校南門 7月14日(火) 10:10～11:10
城東小学校東門 7月14日(火) 11:35～12:15

森之宮団地4号棟西側 7月14日(火) 14:00～15:10
放出福祉会館 7月17日(金) 10:20～11:00
市営今福南第3住宅集会所前 7月18日(土) 14:30～15:00
市営古市東住宅1号館北側集会所前 7月24日(金) 13:00～13:50

問合せ：中央図書館自動車庫 ☎ 06-6539-3305 FAX 06-6539-3336



私たちのまちを知らう！

城東区通信

シリーズ 企業訪問

5月11日(月)訪問



城東区×SDGs



【株式会社リングスター】

これからの社会に不可欠なSDGsの取組み。城東区内にある企業を訪問し、お話を伺っていきます。

今回は、城東区東中浜に本社を構える株式会社リングスターに訪問し、代表取締役社長の唐金吉様と取締役・営業統括部長の唐金祐太様にお話を伺いました。

株式会社リングスターは、明治20(1887)年に木材加工業として始まり、昭和2(1927)年に東中浜へ工場を新設。100年以上にわたり、時代に合わせて素材を変えながら工具箱づくりに取り組んできた歴史ある会社です。「強い箱を最高の品質で届けたい」という想いから、創業以来、国内生産にこだわり、プロの要望にプロとして応える姿勢のもと、今までにない発想を形にし、多くの特許を取得されています。

そんな折、令和4(2022)年9月に訪れた長崎県対馬市。海岸に流れ着いた大量の海洋プラスチックが放置されている現状を目の当たりにし、本当に世の中のためを考えるきっかけになればと思い、これを活用した製品化を決意されました。しかし、海水や紫外線で劣化した海洋プラスチックは強度・安定性に課題があり、強度を確保したままの製品化は容易ではなかったそうです。そこで、長年の歴史の中で培ってきたノウハウを活かし、試行錯誤の末、漂着した青いポリタンクを粉砕した素材を10%配合しながらも、従来品と同等の強度を備えた「対馬オーシャンプラスチックバスケット」「対馬オーシャンプラスチックボックス」を誕生させました。

さらに、海洋ごみ問題に関心を広げるため、生駒市と対馬市の中学生との交流授業や、子どもたちにプラスチックや消費の大切さを考えてもらうワークショップなども行われています。

今後について伺いますと「誰にも負けない創造的なものづくりを通じて、関わる人々とともに皆が誇れる社会を実現していきたい」とおっしゃられました。

これからも、形のないところからカタチをつくる姿勢を大切にしながら挑戦を重ね、培ったノウハウを次世代へ受け継いでいかれることを願っています。



対馬市に流れついた海洋プラスチック(左)、対馬市の方々の協力のもと、色ごとに分別された海洋プラスチック(右)



対馬オーシャンプラスチックバスケット(売上金の一部を対馬市に寄付)大阪・関西万博の公式ライセンスショップでも使用されました



左から唐金吉代表取締役社長、吉村区長、唐金祐太取締役・営業統括部長

近畿行政相談委員連合協議会会長表彰を受賞！

城東区で行政相談委員として活動されている松浦隆行様が、長年にわたる委員としての功績が認められ、近畿行政相談委員連合協議会会長表彰を受賞されました。多年にわたる功績に敬意を表し心よりお祝い申し上げます。



問合せ：総務課(総合企画)

☎ 06-6930-9683 FAX 050-3535-8684

自転車ひったくり防止カバー取付けキャンペーン<5月19日(火)>

蒲生公園にて実施。晴天のもと、開始1時間前から行列ができ、牛乳石炭共進社株式会社より寄贈いただいた300枚のカバーを取り付けました。ご協力に感謝し、引き続き関係機関と連携して、ひったくり0件をめざします。



問合せ：市民協働課(防災・防犯)

☎ 06-6930-9045 FAX 050-3535-8685

第6回 防災サミット<6月6日(土)>

城東スギタクレストホールでは、「水害に対する事前防災～東日本大震災から15年～」をテーマに、川崎杏樹氏と船見信道氏のお二人に講演いただき、参加者は貴重な体験談や水害に対する備えについて熱心に耳を傾けていました。



蒲生公園では、自衛隊・国土交通省・城東警察署・城東消防署・環境局・建設局・水道局・城東区社会福祉協議会・西日本三菱自動車販売株式会社にご協力いただき、特殊車両の乗車体験やパネル展示を楽しむ子どもたちで賑わいました。

問合せ：市民協働課(防災・防犯) ☎ 06-6930-9045 FAX 050-3535-8685

吉村区長の 城東見聞録



城東区×SDGs



区内の13か所の公園には、8種類の健康遊具が設置されています。今回は、日々の運動習慣づくりに役立つ健康遊具を3つご紹介します。

1.背伸ばしベンチ(古市西北公園)

背面のカーブに沿って、背筋を伸ばせるベンチです。座った状態でのストレッチはもちろん、立った状態でも使うことができます。姿勢や上半身の疲れの改善につながります。ポイントは「無理に反らない」「短時間から始める」「呼吸を止めない」です。



2.腹筋ベンチ(中浜公園)

ベンチに仰向けになり、バーに足をかけながら上半身を起こすことで、腹と腕を鍛えることができます。ポイントは「回数はマイペースで無理をしない」「お腹でゆっくり呼吸をする」「呼吸を止めて力まない」です。



3.ぶら下がり(蒲生第二ふれあい公園)

両手でバーにぶら下がることで、脇腹や背中全体の筋肉を伸ばすことができます。また、膝を伸ばした状態で足を持ち上げると、さらに運動強度が上がります。ポイントは「肩や背中を痛めないように、無理のない範囲でゆっくり行う」です。



健康遊具は、高齢者をはじめとして誰もが健康維持・増進に必要な運動を、安全に楽しんで行えるように配慮して設計されています。もちろん無理は禁物ですが、公園に立ち寄られた際に気軽にストレッチなどの運動をしてみませんか。

(注)天候によっては、遊具の表面温度が高くなり、やけどする恐れがありますのでご注意ください。

